

7 私塾生徒への公費支給廃止に付達〔明治五年三月〕

(欄外注記¹)
学制之儀近内可及相達就而ハ府県ニ於テ是迄公費之生徒府下其外ニ差出シ中ニハ未熟之向きも有之趣ニ付東南両校ニ而試験可致相違置候処論議之次第有之右ハ取消申候条以来私塾之生徒エ公費さし出候義一切可致廃止此段更ニ及相達候也

但シ東南両校へ稽古願出候者ハ試験之上入学可差許候条有志之者ハ其校へ願書差出候様之事

壬申三月

文部省

(欄外注記²)
学制之儀近日可及相達候処是迄諸府県ニ於テ公費ヲ以生徒差出中ニハ未熟之向モ不少趣ニ相聞候間東京遊学公費生徒之分来月十二日ヨリ東南校ニ於テ試験可致南校ニ於テハ英三ノ組仏二ノ組独一ノ組ニ見合東校ニ於テハ本科生ニ見合其相当以上ハ詮議ヲ遂ケ滞学可差許其条ハ一先帰県為致候各府県ニ於テ東南校之外私塾其外へ差入有之公費生徒名前取調来月七日迄ニ当省エ差出可相成候事

但東南校入舎生ニテモ本文之例ニ準シ下等之者ハ追々詮議

ヲ遂ケ公費差止メ可申候事

一京都大坂遊学公費生徒ハ大坂開成所医学校ニ於テ長崎公費生徒ハ同所広運館医学校ニ於テ試験取設候ニ付追テ月日等相達可申候事

公費生徒学業試験之儀御取消相成以來私塾之生徒公費差出候儀一切廢止可致旨此程御布告相成候日限ハ何日ニ候哉即刻御回答有之度此段申進候也

壬申三月六日
本省御中

南校

入学差許候儀ニ付相伺候書付

此度左之通入学差許可申就而ハ兼而府県へ御布告も有之候得ハ右日限ニ而御差支無之候ハ、即日御門外へ張出可申候此段相伺候也

但右入学之義分テ府県へ御布告有之義ニ候得ハ本省ガ御達有之度尤左之日限後入学願出候共聞届かたく旨ニ而御取計有之度存候

今般英仏独乙入学差許候ニ付右志願之者ハ来ル十五日ガ十八日迄之内当校勤惰調局へ可申出候事

壬申三月

南校

長

監

勤

此程私塾之生徒ニ公費を以修業為致候義廢止之旨御布告相成候

ニ付而ハ当校生徒ニ於ても公費之向ハ何レ御改正可有之義ト存候且公費之向仮令一時廢止候トモ方今文運を進メントスル時ニ

当リ俊秀優等之生徒ハ更ニ公費之法ヲ改メ其規則ニ從ひ之ヲ与へ修業為致候半テハ不相成義ニて即今夫々試験可差加候得共一時之試業ニ而ハ相濟不申学業之勉怠進歩之遲速ヨリ其他性質身体之敏鈍佳康ニ至るまで熟察之上ならてハ不相成候義ニ可有之右ニ付来六月大試業之時を待チ夫迄ニ十分視察を遂ケ候上ニ而生徒之優省を判然區別いたし可申候就而ハ夫迄之処兼而公費を以て当校ニ入学相成候向ハ従前之通被差置候様いたし度此段相伺候也

壬申三月六日

(欄外注記一)

「三月四日廻ル」

(欄外注記二)

「前之分」

『含要類纂』統編乙、明治十二年十一月、輯係、生徒之部、壬申年間ノ編、②